

秋経協・二水会 「55回」11月例会

講演会、情報交換会の開催

日時 平成23年11月21日（月）

会場 アルバートホテル秋田

演 題「大震災時における企業の危機管理」
～阪神大震災から学んだこと～



講師 独立行政法人日本学生支援機構 理事長 遠藤 勝裕 氏
(元 日本銀行 神戸支店長)



秋経協・二水会 11月例会が11月21日にアルバートホテル秋田で講演会、情報交換会開催された。講演会は独立行政法人日本学生支援機構理事長(元日本銀行 神戸支店長)の遠藤勝裕氏をお招きして、平成7年1月17日午前5時56分に発生した阪神大震災の被災者の一人として、また、在任中の日本銀行神戸支店長として貴重な体験を基に、「大災害時における企業の危機管理」と題して講演、会員20名が聴講した。

講演の要旨は、災害時における緊急事態の発生と対応について、地震発生から自宅出発までの行動、自宅から職場までの様子などを生々しく語られた。その後、大災害時における日本銀行の役割に触れ、具体的な行動事例として、営業の再開に対する準備、金融特別措置の発動、金融機関の臨時窓口開設、手形交換所の再開、焼損銀行券等の引き換えの経緯など様々な対応について述べられた。

最後に震災の教訓として、マニュアルと訓練の重要性、職員も被災者であることへの対応、トップの仕事とリーダーとして守るべきものについて話され講演会は終了した。

本年、3月11日の東日本大震災は甚大な被害と多数の犠牲者をもたらした。また、いまだ収束しない原発事故の後始末など多くの問題を抱えたまま年が暮れそうである。我が秋田県は直接の被害はそれ程大きくなく安堵したが、災害は予告なしに訪れる。遠藤講師の講演を聴講し「備えあれば憂いなし」の言葉を今一度思い出す良い機会となった。



講演会：渡辺代表幹事挨拶



情報交換会：高橋代表幹事挨拶